科目コード	G6001	科目名	放射線と健康科学				
履修区分	必修	開講期	1年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	嶋本　文雄・原田　耕志　他						
授業の概要	本学の学章には平和公園の灯火をイメージしたデザインが刻み込まれているように、ひろしまのこころを学ぶ平和学は大切な科目と捉えている。被爆地広島の医療の歴史を振り返りながら、人々の生命や健康の安全を脅かす放射線について学ぶとともに、現代医療の最先端で利用されている検査機器による放射線診断学と、がんの放射線治療学など医療への貢献についても学び、地域性を活かしたひろしまの医療と健康科学について学修する。						
DPとの関連	①研究者、教育者、又は高度の専門職業人として保健学関連領域における研究課題を発見し、分析・評価し、科学的根拠を探求して新たなケア技術やシステムを創出できる研究力						◎
	②地域社会での質の高いケアの提供のため、自身がリーダーシップをとり、異なった専門的背景をもつ専門職と、同じ目標に向けて連携していくためのファシリテーション能力						–
	③保健学の専門的な学術理論と実践の融合を図り、社会に対して新たな知見を提案できる能力						△
	※DP：ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）＝修了までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	１．被爆地である広島の戦後医療の歴史について体系的に理解している。 ２．放射線診断学及び治療学の最新の研究動向について把握している。						
履修上の注意事項	事前に提示する課題を自己学習して講義に臨み、討論に於いては積極的に参加すること。						

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	放射線は、電磁波のなかのごく一部のもので、放射線を含めた電磁波の健康障害について概説し討論する。【嶋本】	我々の地球環境にはどのような、電磁波があり、放射線と同様に健康に障害及ぼすものあるかどうかを事前に学修し、今後このような電磁波が障害を防ぐにはどのようにすべきかを各自で学修する。
2	放射線の健康影響と被ばく事故 （ゲストスピーカー：神谷研二特任教授【広島大学副学長・福島県立医科大学副学長】）【神谷】	事前に配付する資料の精読
3	広島市における被爆者の健康管理の取り組みについて （ゲストスピーカー：上野義隆教授【広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター所長】）【上野】	事前に配付する資料の精読
4	日米共同研究による被爆者の健康調査について （ゲストスピーカー：楠洋一郎副部長【公益財団法人 放射線影響研究所 分子生物科学部】）【楠】	事前に配付する資料の精読
5	放射線腫瘍学について （ゲストスピーカー：村上　祐司教授【広島大学大学院医系科学研究科 放射線腫瘍学】）【村上】	事前に配付する資料の精読
6	歯科領域における放射線とその健康への影響について【原田】	歯科X線検査について確認してください
7	放射線増感効果について【原田】	放射線増感効果について確認してください
8	放射線の副作用とその制御【原田】	放射線性口内炎について確認してください

成績評価方法	レポート 100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	※授業において、適宜資料配布	
参考書	※授業内に、適宜紹介	

教員からのメッセージ	
教員との連絡方法	講義後に質問を受け付けます。また、E-mail若しくはオフィスアワーも活用してください。
実務経験のある教員	